

敵山さんに聞く！

食の安全・安心

科学的な視点から、
食の安全・安心について学ぶコラムです。

国内で流通する食品の安全基準

2017年から食品の原料原産地表示が始まり、移行期間を経て全ての加工食品に原料原産地が表示されることになりました。とはいえ、「国産又は輸入」、「国内製造」といった表示も認められます。日本の農産物を応援したいので「国産」と表示されているものを選びたい場合もあると思いますが、チョコレートやワインなど、国産原料はほとんどないものや、外国産のほうがブランド価値が高いものもあるでしょう。表示は消費者の選択に役立つためにあるので上手に利用したいものです。その前にあらためて確認しておきたいのは、**国産・輸入に関わらず、日本国内で流通する食品は全て同じ日本の基準が適用されていて、安全性について違いはない**ことです。

「国産」への信頼と国際規格のギャップ

一方で日本は近年、農産物や食品の輸出促進を優先課題にしています。日本はこれまで食品の輸入は多いものの、輸出はわずかしかなかった。輸出する商品は相手国の基準を満たす必要があります。日本産の食品は安全で質が高いのだから、そのまま海外にも輸出できると考えるのは間違いです。国際的に流通する食品の安全性や品質については、基本的に「コーデックス規格」という国際基準が参照されますが、国により違いがあります。国際基準と国内基準がほとんど同じなら輸出入はスムーズですが、日本は独自の基準が多く、国際基準への適合は、より新しい時代になってから法整備をした途上国より遅れています。日本

今月のテーマ

国産食品と輸入食品

はこれまで相手国に要求するだけで良かったこともあり、他国からの要求に応えることは得意ではないのです。もちろん世界進出している大手企業は各国の事情にあわせて商品を作っていますが、国内でしか販売してこなかったものを海外に売るにはそれなりに努力する必要があります。その努力を、中国などの輸出国は欧州や米国相手にずっとしてきたのです。日本はこれから取り掛かるという段階なので、生産者は国内での無条件に近い「国産」への信頼と、海外からの厳しい視線とのギャップに苦労することが多くなるでしょう。しかし外部の目で指摘されて見直すことによって、より高い水準のものができるという側面もあります。「国産」と宣伝するだけで品質を問わずに輸入品よりもよく売れるなら、品質の向上に向けての努力を怠る生産者が出てくるかもしれません。日本の生産者のレベルを上げるためにも、消費者には「国産」表示の文言だけを頼りにするのではなく、確かな目で中身を判断してほしいと思います。

教えてくれるのは…

うねやま ちかこ
敵山 智香子さん

国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長
東北大学薬学部卒、薬学博士。生化学、薬理学を専攻して食品や医薬品の安全性研究に従事し、2003年以降食品中の化学物質の安全性に関する情報収集と提供を主に行ってきた。

主な著書は、『ほんとうの「食の安全」を考えるーゼロリスクという幻想』（化学同人）
『「健康食品」のことがよくわかる本』（日本評論社）など。



vol.10

今月のテーマ

「ペットを飼う」= 「命を預かる」ということ

安全・安心な暮らしを支えるために、暮らしに潜む消費者トラブルから身を守るための情報を、京都府消費生活安全センターからお届けします。

消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター「イヤヤン」

子犬や子猫の無邪気なしぐさは、見ているとかわいく癒されますね。店員さんに勧められて抱っこすると、つい「飼ってみたい!」という気持ちになりがちですが、ペットを飼うということはかけがえのない命を預かるということです。責任を持って飼育することが必要です。

あわてて契約しないこと

2006年に「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、事業者には一定の説明責任が課されるようになりましたが、いまだに強引な販売方法をとる事業者も存在します。購入を急かされても、あわてず慎重に判断しましょう。

賃貸物件でペットを飼える?

その物件の規約で禁止されていれば飼えません。無断で飼えば規約違反で退去を求められたり、高額な原状回復費用を請求されることもあります。

店頭契約では、原則クーリング・オフの適用がありません

ただし、事業者側がうそをついたり、断っているのにサインしないと帰らせてもらえないなど、不当な勧誘行為があれば、取り消しできる場合があります。

困った時には、すぐに消費生活センターなどに相談しましょう。

消費者ホットライン(全国共通)
(お近くの消費生活センターにつながります)

イヤヤン! 188
(局番なし)

京都府消費生活安全センター

消費生活相談 ☎075-671-0004 9:00~16:00(平日) ※年末年始休

土日祝日相談(緊急のみ) ☎075-257-9002 10:00~16:00(土日祝) ※年末年始休

京都生協 検査・点検報告 残留放射性物質の検査の詳しい内容を京都生協ホームページで公開中!

工場点検レポート

京都生協コープ商品「 緑豆もやし」を製造する株式会社サラダコスモを点検しました。製造工程においては、仕様書通り適正に運用・管理されていることを製造現場や手順書、記録などで確認しました。また衛生管理や異物混入対策などについても徹底されており、問題がないことを確認しました。



▲選別・洗浄工程



▲箱詰め作業

〈10月度検査結果〉

農産物残留農薬検査	19 検体	
米の残留カドミウム検査	0 検体	
卵質検査	973検体	
鶏卵サルモネラ検査	11 検体	
微生物検査	店舗調理商品	90 件
	京都生協コープ商品 その他	30 件 92 件
	京都協同食品 プロダクト(株)商品	4 件
残留放射性物質検査	3 件	



京都生協の点検項目・検査基準に照らし安全に供給できることを確認しました。